

**対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「テイシャス・ゴールディング公立高校通学バス整備計画」
贈与契約署名式**

2019年11月27日、大使公邸において、対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「テイシャス・ゴールディング公立高校通学バス整備計画」の贈与契約署名式が開催されました。

山崎大使は、挨拶の中で、2台の通学バスによって通学環境が改善され、生徒が安心して授業に間に合うよう登校できるようになることを期待しました。また、日本政府は教育分野における支援を重要視しており、全てのジャマイカの若者がより良い教育環境を享受できるようになることを目指していると述べました。また、本年ジャマイカと日本が国交55周年を迎えたことに言及し、ジャマイカの社会経済開発に協力できることは光栄であると述べました。

セント・キャサリン県のテイシャス・ゴールディング公立高校は、全校生徒の約90%が山間部及び徒歩圏外から通学しています。しかし、公共交通システムが未整備のため、日々の通学に大きな問題を抱えています。

今回のプロジェクトでは、同校に135,233米ドルが供与され、通学バス2台が導入されます。これによって、生徒が毎日安全に学校に通学でき、教育環境の改善や地域全体の学力向上に繋がることが期待されています。

今般の署名式には、被供与団体の代表、クリストファー・タフトン保健大臣、リチャード・トゥルーブ教育・青年・情報省安全管理部長代理、学校関係者、報道機関係者などが出席しました。

被供与団体のラッセル校長は、過去19年間の学校運営で通学バスの整備が常に課題であったと述べ、日本政府に深い感謝の意を表しました。タフトン大臣は、ジャマイカ国内の様々な郊外地域が必要とする支援ニーズに応えてきた日本の草の根は迅速で足が早い、また、人間の安全保障の理念に基づく日本の草の根は、真にコミュニティの人々が裨益するよう設計された大変素晴らしい制度で、自分はこれまで国内各地の草の根の引渡に立ち会ってきたが、草の根はジャマイカの発展に極めて大きな貢献を行っているとは高く評価しました。



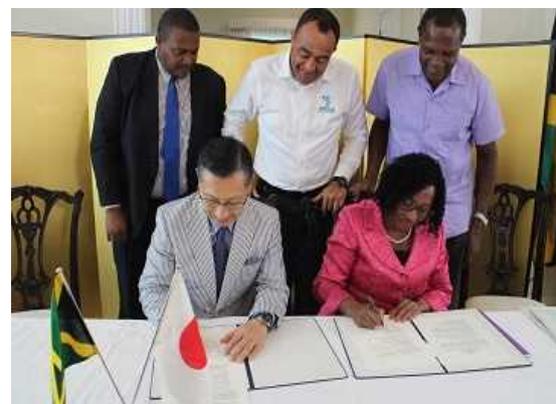
挨拶する山崎大使



日本の支援に感謝を述べるタフトン保健大臣



握手する山崎大使とタフトン保健大臣



署名する山崎大使とレナ・ジョイス・ラッセル・テイシャス・ゴールディング公立高校校長



日本への感謝を詩と劇で披露したテイシャス・ゴールディング公立高校の生徒代表



列席者による記念撮影